

<b>【技術の名称】</b> 鹿島式ヒンジリロケーション梁工法 ーフック付き補強筋を用いたヒンジリロケーション工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-12号 性能証明発効日：2018年12月4日 <b>【取得者】</b> 鹿島建設株式会社
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、梁端部の主筋に添えて 180° フック付きの補強筋を設け、梁ヒンジ位置を柱フェイス位置から離すヒンジリロケーション工法である。

**【技術開発の趣旨】**

梁主筋に沿ってフック付き補強筋を配置することで梁端部の曲げ耐力が向上し、梁の曲げ降伏起点位置が柱フェイス位置から梁スパン中央部方向へ移るヒンジリロケーション工法である。ヒンジリロケーションする距離はフック付き補強筋の長さでコントロールし、梁せいの 0.18 倍から 0.36 倍程度とする。フック付き補強筋のフック内側には梁材軸に直交する鉄筋（流し筋）を設置することでフックの定着性能を高め、梁曲げ降伏後の架構性状を良好に保つ。

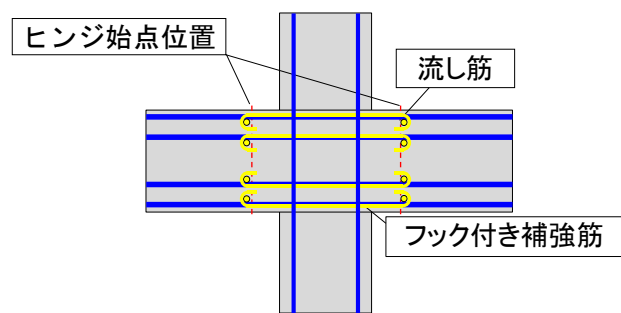


図 1 鹿島式ヒンジリロケーション梁工法の概要図

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「鹿島式ヒンジリロケーション梁工法 設計施工指針」に従って設計施工された鉄筋コンクリート造梁は、長期荷重時の使用性、短期荷重時の修復性を損なうひび割れを起こさず、柱フェイスから離れた位置に曲げ降伏を生じて、同指針が定める終局耐力および変形性能を有する。

**【本技術の問合せ先】**

鹿島建設株式会社 担当者：岡安 隆史  
〒182-0036 東京都調布市飛田給 2-19-1

E-mail：okayasu@kajima.com  
TEL：042-489-8204 FAX：042-489-8443